

☆ おおだて 市議会だより

115号

平成27年2月1日



平成26年 12月定例会(会期:11月25日～12月11日)

代野番楽
(田代地域代野)
平成27年1月1日

- 主な議案等の審査結果…………… P. 2
- 一般質問…………… P. 4
- 大館市議会基本条例(案)に対するパブリックコメント実施結果… P. 9
- 私もひ・と・こ・と…………… P. 10

主な議案等の審査結果

12月定例会（会期：11月25日～12月11日）

内訳：専決処分の報告2件、専決処分の承認1件、条例案12件、単行案10件、予算案5件、議案の訂正1件、人事案2件、請願3件、陳情6件、意見書案4件、継続審査中の請願4件・陳情6件
計56件

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
○ 専決処分の承認（平成26年度大館市一般会計補正予算（第5号）） 衆議院の解散総選挙に伴う予算について、議会を開会する時間的な余裕がなかったために専決処分されたものです。 ・ 衆議院議員総選挙費 3,740万5,000円	承認
○ 放課後児童クラブに関する条例の一部改正 来年度から（平成27年4月1日～）放課後児童クラブの対象が小学6年生まで引き上げられます。また、南小学校と花岡小学校の空き教室を利用して、2つの放課後児童クラブが新設されることになりました。	原案可決
○ 指定管理者の指定 次の施設の来年度からの指定管理者が指定されました。 ・ 比内福祉保健総合センター 【比内ふくし会】 ・ へき地保育所7カ所 ＜沼館・二井田・真中・矢立・長木・下川沿・花岡＞ 【大館市社会福祉事業団】 ・ 特別養護老人ホームつくし苑 【 // 】 ・ 養護老人ホーム成章園 【 // 】 ・ デイサービスセンターかつら 【大館市社会福祉協議会】 ・ デイサービスセンター大滝 【大館市社会福祉事業団】 ・ ケアハウスほうおう 【 // 】 ほか	原案可決
議案の訂正 ＜平成26年度大館市一般会計補正予算（第6号）案について＞	承認
○ 平成26年度大館市一般会計補正予算（第6号） ・ ふるさと納税関連経費の追加 1,103万3,000円 ・ 番号法対応業務システム改修事業費の追加 1,098万1,000円 ・ 障害者自立支援給付費の追加 4,638万8,000円 ・ 稲作経営安定緊急対策資金保証料助成補助金 180万0,000円 ・ 釈迦内産業団地整備事業費 5,700万2,000円 ・ 老朽危険家屋対策事業費 344万8,000円 ほか	原案可決
○ 平成26年度大館市一般会計補正予算（第7号） ・ 本庁舎建設事業基本計画策定支援業務委託料 182万5,000円 ・ 小型動力ポンプ付水槽車（消防車両）修繕料 297万0,000円	原案可決

請願・陳情

12月定例会に提出されたもの

請願	☐ 米の需給安定対策について	採 択
	☐ 水害の抜本的な再発防止対策について	
	☐ 集团的自衛権容認の閣議決定を撤回することについて	継続審査
陳情	☐ 安全・安心な医療・介護の実現について	採 択
	☐ 介護従事者の処遇改善について（2件）	
	☐ 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化について	
	☐ 労働法制の改悪に反対し、安定した雇用の実現を求めることについて	継続審査
	☐ 年金積立金の安全かつ確実な運用について	

継続審査となっていたもの

請願	☐ 放射性セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について	継続審査
	☐ TPP交渉に関して（2件）	
	☐ 農業改革について	
陳情	☐ 教育費無償化の前進について	継続審査
	☐ 雇用の安定を求めることについて	
	☐ 地方自治体の臨時・非常勤職員の処遇改善と雇用安定のための法改正を求めることについて	
	☐ 軽度外傷性脳損傷の周知と労災認定基準の改正を求めることについて	
	☐ 消費税の増税中止を求めることについて	
	☐ ウイルス性肝炎患者に対する支援の拡充を求めることについて	

— 意見書の提出 —

- ☐ 米の需給安定対策に関する意見書
《提出先》 内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣
- ☐ 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
《提出先》 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣ほか
- ☐ 安全・安心な医療・介護の実現を求める意見書
《提出先》 内閣総理大臣、財務大臣
- ☐ 介護従事者の処遇改善を求める意見書
《提出先》 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、秋田県知事

たなか こうたろう
田中 耕太郎議員(いぶき2)



市の防災対策について

〔問〕 地域防災計画における本市の自助・共助・公助の捉え方について。

〔市長〕 自助については、水・食料などの家庭内備蓄や避難所の確認など日ごろからの災害に対する備え。共助については、昨年8月9日豪雨災害時の沼館町内会における相互協力の事例など、地域のことを一番よく知っている自主防災組織の強化が重要であり、東日本大震災後の防災意識の高まりを契機に自主防災組織の結成を推奨しており、組織化率は徐々に向上している。公助については、国・県等の行政機関や防災関係機関が緊密に連携して災害対策を行うことが重要であり、おののの役割を明確に盛り込む。

〔問〕 昨年8月9日の豪雨対策のその後の状況について。

〔市長〕 田代地域を流れる米代川の約4キロメートルの区間から約60万立方メートルの堆積土砂搬出事業を計画している。これにより、豪雨時の水位が1メートルから1・5メートル下

がると見込まれ、市全体の浸水被害を緩和できる。横岩地区や山田渡地区では、築堤事業等が計画されている。議員御指摘の御成町や清水町一帯、特に大館駅前の内水対策については、下水路等の流下能力を超えた雨水が流れ込んだことが浸水の要因であるため、JR奥羽本線の線路下を横断する暗渠のしゅんせつを行った。旧小坂鉄道跡地を利用した排水路の新設とともに土砂堆積箇所のしゅんせつなど適切な維持管理を行い、長木川への流下能力向上を図る。

〔問〕 旧小坂線整備による御成町一丁目・二丁目の治水対策、また、通学路としての活用について。

〔市長〕 旧小坂鉄道跡地の活用をDOWAグループから託された。素案の段階だが、大館駅から樹海ドーム間に直結道路を整備し、宅地開発等による人口誘導を促し、樹海ラインにかわる新たな生活・通学道路の確保を検討中。また、昨年8月9日の豪雨により浸水した御成町・大館駅前の雨水対策として、道路に並行した水路を新設・改

良することにより、長木川への流下能力の向上が図られる。これらの構想については、「あきた未来づくりプロジェクト」として県と協議しながら今後、具体化を検討してまいりたい。

さとう てるお
佐藤 照雄議員(平成会)

庁舎建設のパブリックコメントから

〔問〕 事業費の削減について。

〔市長〕 事業費を極力抑えることは重要課題の一つ。比内・田代庁舎を将来にわたって最大限に活用することで面積の縮小が可能か、庁舎の形態や建築方法も含めコストの削減について、基本計画を策定する中で検討したい。

〔問〕 将来の支所職員数について。

〔市長〕 今、各庁舎に分散している建設部や教育委員会を平成52年度までに集約することを



目指している。将来の配置については予測が難しく、今後の行政需要や人口動態の推移を見ながら柔軟に対応できるようにしたい。

〔問〕 桂城公園の観光効果をどう思うか。

〔市長〕 桜まつり等、市の代表的なイベントが開催される場所であり、樹海ドームと並ぶ市の観光拠点であるほか、城の成り立ちなど大館市の歴史を語る上でも重要な場所。パブリックコメントを受け、整備の仕方を十分に検討したい。

市管理の建造物の今後の方策について

〔問〕 現在の施設管理のあり方をどう思うか。

〔市長〕 御指摘のとおり、本市でも高度経済成長時期に建設された施設の老朽化対策が喫緊の課題である。従来の壊れてから補修する保全型から予防保全の管理に転換し、施設の延命を図っている。

〔問〕 公共施設マネジメント事業の導入についてどう思うか。

〔市長〕 全庁横断的な組織で中長期にわたる「公共施設等総合管理計画」を策定し、市有施設の総合かつ計画的な管理を推進したい。これにより、人口推移や需要動向を見据えた施設の

あり方を総合的に検討し、トータルコストの削減につなげたい。

〔問〕 地域に合った施設の効率的活用を。

〔市長〕 支所庁舎の活用は、支所機能だけではなく、老朽化施設の代替のほか、医療・福祉・介護の地域包括ケアシステム

さとう けんいち
佐藤 健一議員(いぶき2)



循環型農業について

〔問〕 循環型農業で生産費の軽減と生産物のブランド化を図るべきと思うか。

〔市長〕 市では、家畜排せつ物を堆肥化し、農作物の生産に利用する循環型農業を推進してきた。具体的には、コンポストセンターで鶏ふんを給食残渣とまぜて「土つ恋しよ」を年間約1,000トン製造、また、比内地鶏鶏ふん処理施設では「ヒナイドリーム」を年間約550

一般質問

[5]

トン製造している。これらの堆肥を戦略作物の作付に利用した場合、基準施肥量の2分の1の費用を助成しているほか、JAの土壤改良材とあわせて使用する場合も6分の1から4分の1の助成をしており、格安に利用できる。しかし、戦略作物以外の作物など助成要件に合わない場合は、生産費がかかり増しになる。農業状況が厳しい中、農業経営者の負担を少しでも減らし、営農意欲を高めるためにも、これら堆肥の価格について、値下げを検討している。ブランド化については、本年度は「ヒナイドリーム」を使用し、付加価値を高めてブランド化したベINASが、販売価格も高く生産者から好評を得た。今後もJAなどとは相談しながら、地域ブランドであるアスパラガスや枝豆などへの堆肥使用を推奨し、相乗的なブランド化を進めたい。また、来年度はシムコの養豚堆肥を田代地域の山の芋生産に使用する予定があり、その散布機を県の農業夢プラン事業を活用して導入し、市でも協調して助成を行い、堆肥の地産地消を図りたい。

中心市街地の活性化について

〔問〕 衰退が激しい早口駅の

活性化策は。

〔市長〕 昨年度、中心市街地再生推進会議早口部会で、駅なか市民ホール設置等の4つの事業計画案を作成した。その後、田代地域まちづくり推進協議会から、早口駅周辺活性化策として、原木市場跡地への誘致企業社員住宅の建設、屋内農場の建設、ケアタウン施設の診療所など医療施設の建設、児童公園の設置の要望書が出された。さきに作成した計画案とあわせて、活性化に資する事業の内容等を検討したい。

さいとう
のりゆき
齊藤 則幸議員(公明党)



ドクターカーの導入について

〔問〕 大館市立総合病院にドクターカーを導入できないか。

〔病院事業管理者〕 消防から要請を受けると最短2分で病院を出発することとで、初期の救急医療に威力を発揮している。

将来のドクターカー導入を含め、さらなる救急体制の整備に取り組んでまいりたい。

シルバー世代の人材活用について

〔問〕 ボランティアポイント制の導入などで、シルバー世代の人材活用が必要ではないか。

〔市長〕 ボランティアポイント制は、行ったボランティア活動に応じてポイントを付与し、将来、本人や家族が必要となった際にポイントを利用してサービスマンなどを受けることができる制度で、ボランティア活動を循環させていくという仕組みであり、その課題や体制づくりについて検討してまいりたい。

書籍消毒機の導入について

〔問〕 市立中央図書館に書籍消毒機を導入できないか。

〔教育長〕 書籍消毒機でウイルス・雑菌を除去することが可能となり、特に幼児や子供向けの絵本などに大きな効果が期待される。なるべく早い時期に導入を考えてまいりたい。

タブレット端末を活用した反転授業について

〔問〕 タブレット端末を活用した反転授業について、どのように考えるか。

〔教育長〕 来年度からの児童生徒用のコンピュータ更新時に、全ての小・中学校にタブレット端末を導入することを検討しているが、反転授業方式については、何よりも大館方式の授業以上の効果は期待できないことから、導入を考える状況にはないと判断している。

たむら
ひとし
田村 齊議員(新生クラブ)

今冬の除雪体制について

〔問〕 年々歳々、除雪機械の性能向上により除雪体制が向上しているが、今冬期については大丈夫か。

〔市長〕 除雪機械等は委託業者257台、市が16台の計273台。出動基準は降雪量10センチメートル以上見込まれる場合

集団検診について

とし、午前7時までに作業を終えるようにする。また、朝方の急な降雪に対する委託業者の出勤判断基準は積雪15センチメートルとし、降雪が予想される場合の職員の待機時間も午前3時ごろまでとしている。

〔問〕 樹海体育館での集団検診時、胃がん検診車をふやすことができないか。

〔市長〕 委託先に問い合わせたところ、保有車両は2台のみであり増車は難しいとの回答であった。検診日数をふやすことや会場、実施時期等の見直しのほか、予約制の導入なども検討し混雑緩和に努めたい。

パークゴルフ場の設置について

〔問〕 昨年9月議会で一般質問したが、その後の推移はどうなっているのか。

〔市長〕 公式大会の開催が可能な36ホール、約4ヘクタールの規模となると土地の確保や建設費など課題も多い。既存施設を有効活用することで対応したい。候補として、達子森スキー場を中心とした周辺土地を考えており、資金計画も含め検討している。



はなおか
ゆういち
花岡 有一議員(平成会)



地域福祉政策について

〔問〕 超高齢社会を迎え、高齢者の福祉政策の課題にどのように取り組んでいくのか。

〔市長〕 超高齢社会を支えていくためには医療・介護による連携強化、認知症施策の推進、地域ケア会議の強化、介護予防の推進が重要な課題であり、在宅医療・介護連携推進協議会の設置などで連携強化を図り、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいく。

国民健康保険財政と

市民の健康の維持について

〔問〕 がん検診の受診率を上げるため、市内全域を対象としたコール・リコール運動を行うべき。また、医療費の適正化と生活習慣病のマーカーである尿酸値の検査を特定健診項目に加

えることについて、どのように考えているか。

〔市長〕 コール・リコール運動については、市内全域に広げていきたい。医療費の適正化については、レセプト2次点検、医療費分析、医療費通知、ジェネリック医薬品希望シールの配布とジェネリック医薬品差額通知を実施している。特定健診における尿酸値の検査については、重要な指標であり、医師会と相談しながら検討する。

中心市街地活性化への取り組みについて

〔問〕 どのような活性化策を考えているのか。

〔市長〕 大館駅周辺の整備と駅前の浸水対策、旧小坂鉄道路地や、旧正札竹村本館棟及び立体駐車場解体後の跡地利用など。また、市営住宅建てかえ事業、今後予定される本庁舎建設事業などを実施し、都市機能を集約させ人口が集中する生活圏の再構築を図っていく。

白色申告者の 記帳・帳簿等の 保存制度について

〔問〕 関係団体に協力を仰ぎ、対象者に周知徹底すべき。
〔市長〕 対象者の負担を軽減するため、商工会議所や法人会

等への制度の周知と帳簿類の作成指導をお願いする。

ささき
こうじ
佐々木 公司議員(いぶき21)

7選出馬について

〔問〕 6期24年間の市政でやり残したことは何か。

〔市長〕 圏域住民の命と健康を守るための地域医療・福祉体制の確立、学区再編等を含む教育環境の整備、市民の生命と財産を守るための災害対策などが差し迫った課題である。

〔問〕 環境先端都市の目標に対する達成度は。

〔市長〕 産業・環境・総合福祉・教育文化・地域協働都市は5段階評価の4、快適生活都市は3。将来像に対する評価は総合的に判断すると4である。

国文祭についての総括は

〔問〕 各イベントの評価は。



〔教育長〕 それぞれのイベントで成果があり、全体的にも大きな文化的刺激と活力を与えてくれたと高く評価している。

まなびピア2014 inおおだてについて

〔問〕 生涯学習強調月間で多彩な企画がされた。その評価は。

〔教育長〕 協賛事業を含め10会場、36事業を実施し、1万3,786人の参加があった。今後、市民が生涯学習に触れる機会を提供し、推進に努めていく。

ゼロダテについて

〔問〕 ゼロダテの評価と「デッカイ秋田犬」を残せないか。

〔教育長〕 大町の歩行者通行量の増加や作品が残り、今後の誘客につながる要素を残したことなどは評価に値する。残された作品の活用は、市民の意向を把握し、検討していきたい。

産業観光について

〔問〕 小坂町との連携、花岡鉱山を核とした産業観光推進を。

〔市長〕 エコツーリズムの推進、小坂町・鹿角市を含めた広域周遊コースには大きな可能性がある。ルールバイクなどとお

わせて広域観光ルートへ組み込むなどの工夫をしたい。

ふるさと教育と 観光振興は

〔問〕 「おおだて文化財マップ」活用によるふるさと教育とガイドマップ活用の観光振興は。
〔教育長〕 ふるさと再発見学習や観光部門と連携しながら検討していきたい。

ささしま
あいこ
笹島 愛子議員(日本共産党)



休日夜間急患センター に留守電を

〔問〕 診察時間外の問い合わせに、診察時間や市立病院の電話番号を知らせるなどの時間外案内機能を備えること。

〔市長〕 確かにメッセージ機能等は整備されていない。今後、診療時間外の電話に対し、診察時間などの情報のほか、症状が重い場合は、救急医療機関を知

らせるような方法など、適切に案内する体制を整えたい。

本市における派遣社員の割合は把握できているのか

〔問〕 本市から流出させず定住してもらうためにも、正社員化が広がるようにするべきではないか。

〔市長〕 人口比率から、本市では180人ほどと推計される。市では、雇用の拡大による安定した就労の場の確保を最重要課題として取り組んできた。今後

も、商工団体や労働団体の御意見を伺いながら、必要な施策を展開する。

子供の医療費無料化を中学卒業まで拡大する決断を

〔問〕 年収200万円以下の労働者が1,000万人を超えたと言われている中で子育ては大変。近隣市町村を参考に、ぜひ中学卒業まで拡大し、子育て世代に安心を。

〔市長〕 医療費助成は、少子化対策、子育て支援を進めるに当たり、非常に有効な施策である。今後も、助成対象の拡大等については検討する必要があると考えている。

介護保険料の引き上げは行いつのか

〔問〕 消費税が上がり、年金が下がり、さらに介護保険料を上げられたら大変。

〔市長〕 介護保険事業計画運営委員会で慎重に審議してもらい、引き上げ率を抑制するように努める。

吉原 正議員(いぶき21)



7選出馬について

〔問〕 決意された最大の要因は何か。

〔市長〕 将来にわたり安心して暮らせる地域にするため、これまでの経験を生かし、全力で尽くすことが使命と考えた。

〔問〕 後進に譲るという選択肢は全くなかったのか。

〔市長〕 産業・経済基盤を確たるものとした上で、後進に引

き継ぎたいと考えている。

〔問〕 大館を生涯定住の地としての思いのほどは。

〔市長〕 大館は、私の人生の中で最も長く過ごした場所であり、また、どこよりも思い入れの深い町であり、生涯定住の地として考えている。

アベノミクスについて

〔問〕 地方に恩恵が届いていないとの指摘が多いが、地方の市長としての見解は。

〔市長〕 地方に波及するまでには時間がかかる。地方はみずからの責任で対策を講じ、相乗効果が生まれるよう自助努力も必要である。

米価下落で農家は悲鳴を上げている

〔問〕 大規模農家ほど厳しい窮状である。迅速なる対策の実行が求められる。

〔市長〕 関係団体と検討した4つの対策、飼料用米等の作付支援、ナラシ対策加入農家への肥料・農薬助成、農地の受け手への助成などを速やかに実施したい。

〔問〕 市の農業施策づくりに農業者が参画できる仕組みを。

〔市長〕 大規模農家、認定農業者、集落営農組織等の代表に

参画してもらい、現場の意見を反映させる仕組みを検討する。

元気のある大葛に新たなよりどころを

〔問〕 学校統合から3年を迎える。さまざまなイベントに挑戦している大葛。活力の拠点となれるような活用策を早期に求める。

〔市長〕 閉校するまで地域のシンボルとして親しまれていた。現在、2事業者から打診があり、雇用の創出、地域貢献できることを考えて取り組んでいる。

千葉 倉男議員平成会

超高齢社会における認知症高齢者の早期発見と対策について

〔問〕 本市における認知症高齢者の現状とその取り組みは。

〔市長〕 周囲の方々の気づき



によってその後の早期発見・早期治療につながることから、認知症介護予防教室や講演会を開催し早期発見に取り組んでいる。認知症の兆候を診断できるチェックリストを配布する予定であり、今後も引き続き見守り対策の構築と認知症グループホームの施設整備に積極的に取り組んでまいりたい。

除雪体制について

〔問〕 本年度の除雪対策と除雪計画は。

〔市長〕 昨年度までの反省点を踏まえ、降雪初期での完全実施、交差点周辺の見通し確保と段差解消、急な坂道や主要交差点・橋梁等の凍結抑制、踏切近くの早期除雪、歩道や通園・通学路等の安全確保、路肩の早期排雪など、冬期間の市民生活の安全と道路交通の確保に努めてまいりたい。

地方創生とリーダーシップについて

〔問〕 地方創生とその取り組みについての考えは。

〔市長〕 収入の多寡が決定的であり、税収は雇用人数や企業数と設備投資などによって決まると考えている。本市を取り巻く環境の変化に対処し、より住

みよいまちづくりに全力を尽くしたい。

鳥インフルエンザ対策と本市の取り組みについて

〔市〕 本市は日本三大美味鶏の一つにも数えられる比内地鶏の一大生産地である。鳥インフルエンザが発生した場合には経済的にも甚大な被害が予想されるが、その対策は。

〔市長〕 野鳥や野生動物の侵入を防ぐこと、農場の出入口での人や車両の消毒の徹底などについて、生産者や関係機関との連携と警戒を強化し、予防に全力を尽くしてまいりたい。

佐藤 芳忠議員（無所属）



生活困窮者自立支援事業

〔市〕 生活保護の対象とはならないものの経済的に困窮し、最低限度の生活を維持すること

ができなくなる恐れのある人達に対し、自立の促進を図るための『生活困窮者自立支援法』が27年4月から施行されます。

〔市〕 『学習支援事業』は任意事業ですが、貧しさゆえに高校や大学に行くことができない子供達が多いです。私は、どのような境遇の子であれ、学習の機会は均等に与えられなければならないと思っています。そのためにも、学習支援事業については、特に、早期の実施をお願いします。

〔市長〕 生活困窮の状況等を把握したうえで、事業実施に向けて取り組んでまいります。

二井田・麓西地区の鶏糞悪臭公害について

二井田と麓西地区の住民は、矢立地区の養鶏場から運ばれてくる30万羽の鶏糞、1日20トンもの鶏糞を処理し始めた平成21年から、年中、24時間、鶏糞の悪臭に悩まされ続けています。朝晩だけで、25年中は64日間、26年は11月末まで78日間も鶏糞悪臭が発生しています。

〔市〕 公害防止協定に基づく養鶏業者への改善勧告について、鶏糞悪臭は住民の生活環境を著しく阻害しており、公害です。市は公害防止協定に基づき改善措置を勧告すべきです。その一環として本年12月に本宮に設

置予定の鶏糞処理機の設置を中止させ、鶏糞の発生場所への処理装置の設置を指導すべきです。

〔市長〕 協定に違反した場合、私共も措置を取らなければいけないと思います。もう一つの判断は、矢立地区で処理ができないのかということも、もう一度検討してもらう必要があります。

〔市〕 臭気測定器による鶏糞悪臭の測定について。

悪臭被害の実態を正確に把握するために、臭気測定器を貸出し臭度を測定し記録すべきです。

〔市長〕 測定器を地域住民に貸し出し、測定を委託する方法を検討したいと考えております。

〔市〕 矢立地区の鶏糞を本宮で処理する是非について議会で審議されたのか否かについて。

〔市長〕 20年6月、住民の同意を説明し、予算が議決された。

相馬 エミ子議員（新生クラブ）



非常勤職員の
実態と勤務体系は

〔市〕 本市の非常勤職員の勤務形態や処遇について伺いたい。

〔市長〕 職種は、一般事務補助・保育士・特別支援教育支援員や校務員・スクールバス運転手・急患センターの看護師等で、処遇については本年度に賃上げを行ったほか、出産育児・介護などの休暇の改善を行ってきた。一般事務補助等は、できるだけ公平に雇用の機会を提供できるように3年の上限を設けている。

子ども・子育て支援
新制度について

〔市〕 待機児童解消を目指す新制度が4月からスタートするが、「わかりにくい」等の声がある。どのように変わるのか。

〔市長〕 10月は施設長に、11月には6幼稚園の保護者に説明会を開催し、混乱がないよう対応している。保育の実施に関する責務はこれまで同様に市が担うもので、保護者の希望に添えるよう保育園と幼稚園の受け付けを行っている。また、保育士の不安解消に向け、視察や研修にも取り組んでいる。

バスターミナル確保と
公共交通のあり方

〔市〕 地域公共交通の維持・拡充をどのようにお考えか。

〔市長〕 平成19年の34路線から、現在は17路線で運行を堅持している。空白地の緩和に向けての循環バス運行など交通政策の充実に努めている。生活バス路線の赤字を負担する市費も年々増加するなど、大変に厳しい状況だが、さまざまな工夫をしている。バスターミナルについては、施設管理者とバス事業者で協議した経緯はあるが、今後のターミナル施設整備は、庁舎建設の基本計画の中で検討していきたい。

がん患者への補正具に
補助を

〔市〕 がん患者の補正具に対して補助をすべきではないか。

〔市長〕 がん患者の治療による身体的・精神的な苦痛や喪失感等ははかり知れない。他市町村の取り組みを参考に県と相談し、補助を検討していきたい。

大館市議会基本条例(案)に対する パブリックコメント実施結果

大館市議会基本条例(案)に対するパブリックコメントを募集したところ、8名の方からご意見・ご提言をいただきましたので、実施結果をお知らせいたします。

今後は、いただいたパブリックコメントを参考に最終案をとりまとめ、平成27年4月の条例施行に向けて取り組んでいきます。ご応募ありがとうございました。

・パブリックコメントの実施結果

- (1) 募集期間 平成26年11月1日～11月28日
- (2) 応募者数 8名
- (3) 意見・提言の概要



番号	該当箇所	意見・提言の概要
1	全 般	条例(案)は文字通り基本なので特に異論はないが、市民生活を守り向上させるために、①あらゆる階層の実情等を調査し、きめ細やかな論議、合意形成施策が望まれる。②大館市民の立場から県政・国政をただす大きな視野と気概が必要。③市議選に当たって、「議員＝地元利益代表」とだけ考えられないよう出身町内や周辺町内の推薦を求めない。
2	第5条	市民の意見を反映させる手段が請願や陳情のみなら従来と変わらない。議会が市民の意見を聞き取れるホームページや御意見箱のようなものをつくってほしい。
3	第14条	市勢発展並びに市民生活安定のため堂々と情報公開に努める姿勢を期待したいので、広報の充実について具体的内容を表す条例にしてほしい。
4	全 般	現在の政務活動費でも言えるが、活動した内容を公表する歯どめが必要と考える。また、議員の活動に対して、市民の判断材料となる報告書を提出するべきと考える。
5	第6条 その他	年4回の定例会に市民意見等を反映するため、議会報告会を年4回以上開催することが、市民の負託に応える責務を有することを自覚し、市民の福祉の向上のために活動することになる。基本条例を理解し、活動する議員に市民の声を聞いてもらいたい。
6	第6条	議会報告会を年1回以上開催となっているが、どんな内容なのか議会だよりに掲載してほしい。
7	前 文 第1条 第2条 第3条 第7条	条例中、「地方自治実現のために取り組んでいく必要がある」は「実現に取り組みます」に、「市民の福祉」は「福利」に、「活動しなければならない」は「活動をする」、「監視及び評価機能」は「運営における不正、怠慢、不備により、市民及び市が損害を被ることがないように監視及び評価機能を果たします」ではないか。「議員相互の言論を尊重すること」とあるが、パワハラ・セクハラ・差別・個人を卑しめる目的の発言、表現、暴力の禁止等の条文はないのか。
8	全 般	条文の表記が統一されていない部分があるので、他の条文と整合性のある文章にしてはどうか。

私もひと・ひと 第22回

このコーナーではみなさんからの「なまの声」を募集しています。お気軽に「投稿下さい」。

カネや生花店

金谷真弓さん (扇田市川)



大館市の勢溜たち

毎日の雪かき、お疲れさまです。ふだんの仕事や家事などに加えての雪かきは、必ずさきにかいてしまわないと車を動かすこともできません。ただ、黙々と作業をします。雪国に生まれただからには仕方がありません。ただ、黙々と、黙々と。

日々の生活も同じですね。ともかく、結婚して、子供をもうけて、仕事を続けてと目まぐるしく毎日駆け抜けていきます。働き盛りの40代とは言いますが、こんなに飛ぶように時が過ぎると思っても見まかせんで

した。何事も当事者にならないとわからないことばかりです。

特に女性の方々、毎日御苦労さまです。得意な方は何ともなくとも、私にはどうも家事は不向き。洗濯物をたたむことや掃除など、楽しいと思ったことはまずありません。ただ、やらないと、明日はますます山盛りの洗い物。仕事が終わった後、後回しになる家事。誰かがやらないと、つまり私がやらないと。とても当たり前のことです。それもこれも、私の家族が元気に会社に行ったり、学校に行ったり、当たり前前に過ごせるようにするためです。世のほとんどの女性たちが過ごしている毎日です。人の目には見えないうところで、黙々と作業をしています。

議員の方々も、私たちのために陰ひなたなく働いてくださっています。家庭を支える立場も、市政を動かす立場も大差ありません。ただ、日々の作業、

しなければならぬことを黙々とこなしています。この大館市の底力は十分についていると思います。こんなに、コツコツと働いている人々が暮らす大館市。なのに、なぜ毎日の生活の底上げにならないのでしょうか。何か、きつかけがあればドカーンと潤う町になりそうです。それを見つめるのが、難しいんですけれどね。

島根県にある出雲大社には、勢溜(せいだまり)と呼ばれている鳥居があります。昔、そこは大きな芝居小屋などが建ち、非常ににぎわっていたそうです。人の勢いが溜まることから、勢溜との名がついたとされています。まさしく、この大館も東北の勢溜ではないでしょうか。この極寒の地に生まれ、厳しい環境に生活している私たち。大雪にも、毎日果敢に取り組み姿。底力は、もう既についています。議員の方々も、職員の方々も、私たち一人ひとりが勢溜。時には、党派を超えて大きな勢溜となって諸問題に取り組んでいくことを願っています。

次の選挙も、我が大館市の勢いを増すために投票に行きます。

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴される場合は、市役所東側(裁判所側)3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎43-7108 (直通)

編集後記

新たな気分で行年を迎えられたことと思います。昨年末には、思いもしなかった衆議院議員の選挙があり、あわただしい年末となりました。アベノミクスとか地方創生などと言われておりますが、「地方が疲弊しなければいいなあ」と願っているところです。4月になりますと、統一地方選が始まります。私たちの任期もあと数カ月となりました。誰が当選しても、大館市民のために頑張ってくれるよう願っております。そのためにも、必ず投票に行つて自分の意思表示をいたしましょう。

(富樫 孝 記)